

漁海況情報

2011年(平成23年)9月 第466号

最新情報提供：沖縄県水産海洋研究センターURL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

沖縄県水産海洋研究センター

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号

電話 098-994-3593・3597

FAX 098-995-2357

携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード) ↑

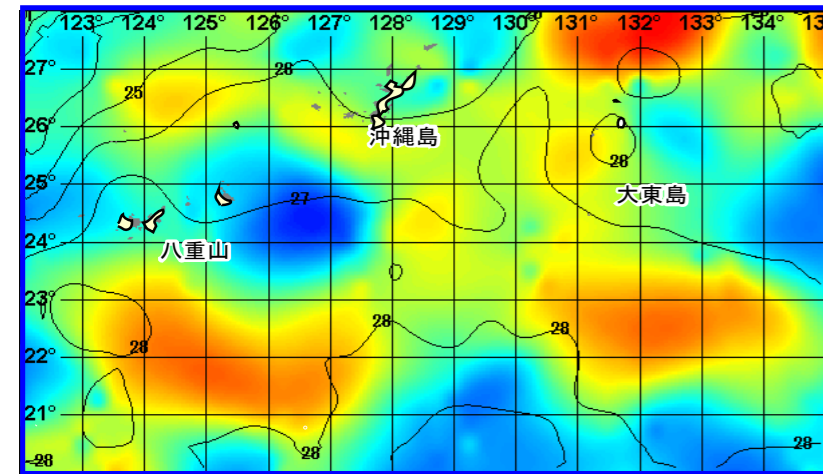


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2011年11月7日)

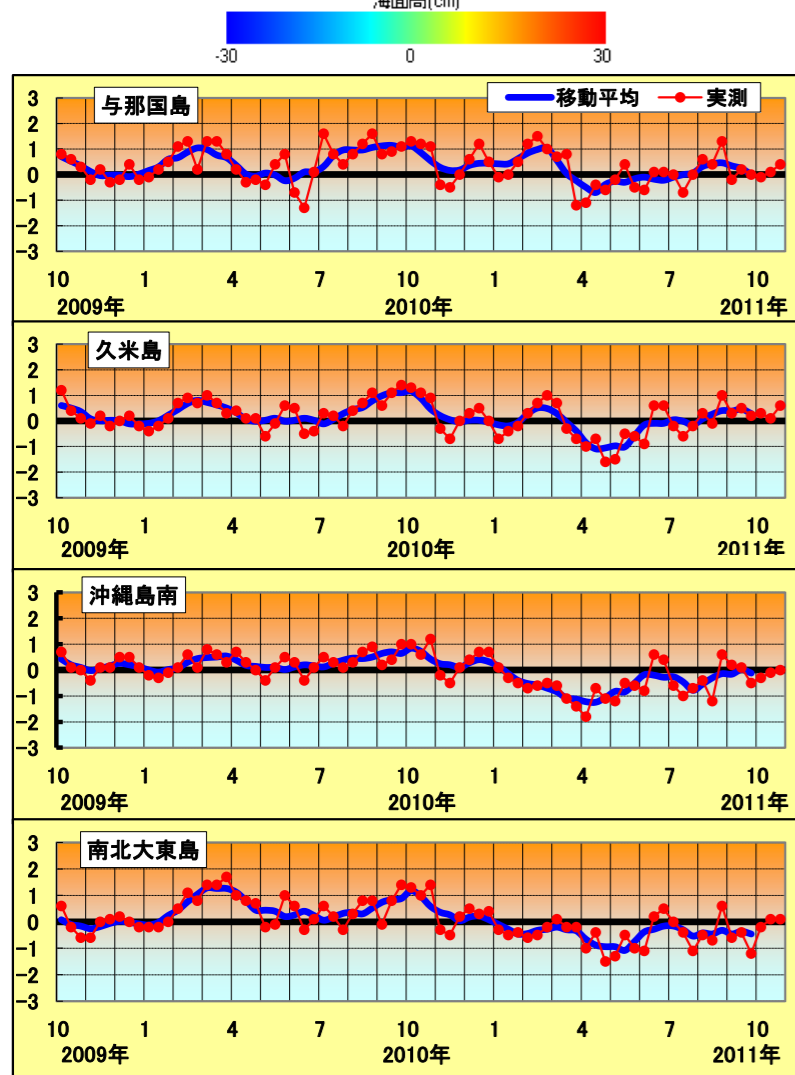


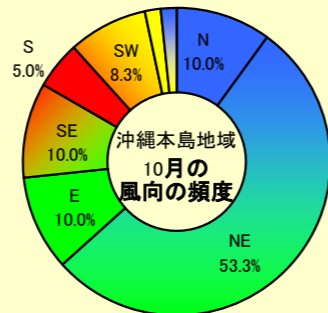
図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

N 水温：10月の水温は、概ね平年並み(±0.5℃程度)であった。11月の水温はやや高め(+0.5℃程度)から高め(+1.0℃程度)で推移し、12月頃に平年並みとなる見込み。
潮流：久米島近海の黒潮はやや西寄りを流れ、宝山・大九曾根から久米島にかけて比較的強い北向きの流れ、石垣島の南東で南東向けの比較的強い流れが発生している模様。

参考資料

海水温・海流1ヶ月予報：10月7日気象庁地球環境・海洋部発表
西日本海別海況情報：10月16日発表長崎海洋気象台
沖縄県地方1か月予報：10月14日沖縄気象台発表

10月の表面水温平年偏差	
与那国	平年並み
久米島	やや高め
沖縄島南	平年並み
大東島	平年並み



漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、伊良部ではキハダ、カツオ、シビの水揚げが多かった。

表1 9月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	3.6	1.5	0.3	0.9	6.2	1.9	12.5
カカジキ	1.5	0.2	0.5	0.0	2.2	0.0	10.9
沖サワラ	0.2	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0	0.7
カツオ	0.3	0.2	0.4	0.3	1.3	3.1	5.1
キハダ	24.2	2.5	8.5	3.2	38.5	13.7	96.2
シビ	4.9	4.3	1.6	6.6	17.3	10.7	33.1
メバチ	4.5	0.0	3.4	3.0	10.8	0.0	13.5
計	39.2	8.8	14.6	14.2	76.7	29.4	172.0

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6～10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	10.6	22.9	22.7	30.0	24.9	111.0
2008年	9.3	13.1	30.7	21.0	26.1	100.2
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	-	136.6

表3 6～10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	14.2	26.9	21.8	56.4	27.2	146.6
2008年	21.8	26.3	19.1	20.0	25.8	113.1
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	-	54.7

表4 6～10月のシイラ漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	9.6	0.9	2.2	8.8	6.1	27.6
2008年	1.2	0.4	1.8	3.1	7.4	13.8
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	-	20.5

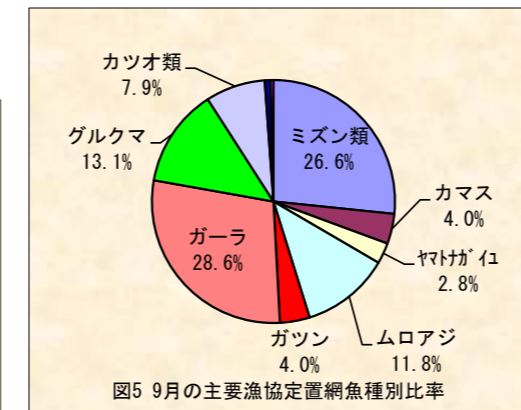


図5 9月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：9月の全体の漁獲状況は、5,779.2kgで先月(7,064.3kg)と比べて減少した。ガーラの漁獲が全体の28.6%、ミズンが26.6%、グルクマが13.1%を占めた(表3、図5)。



ユカタハタ(アカミーバイ)

糸満では、キハダ(10kg以上)が24.2t漁獲された。港川がシビが4.3t、キハダが2.5t、シイラが1.5t漁獲された。知念では、キハダが8.5t、メバチが3.4t漁獲された。沖縄市ではシビが6.6t、キハダが3.2t、メバチが3.0t漁獲された。伊良部ではキハダが13.7t、シビが10.7t漁獲された(表1)

沖縄本島南部海域における過去5年間の6～10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2～4に示した。更に過去4年間の1～12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

今年度のキハダの漁獲量を過去5年間と比較すると、5月期(33.5t)で、昨年度5月期(155.1t)と比べて大きく減少した。また9月期のキハダの漁獲量は38.5tで、8月期(26.1t)に比べて12.4t漁獲量が増加、昨年の9月期と比較すると11.2t上回った(表2)。

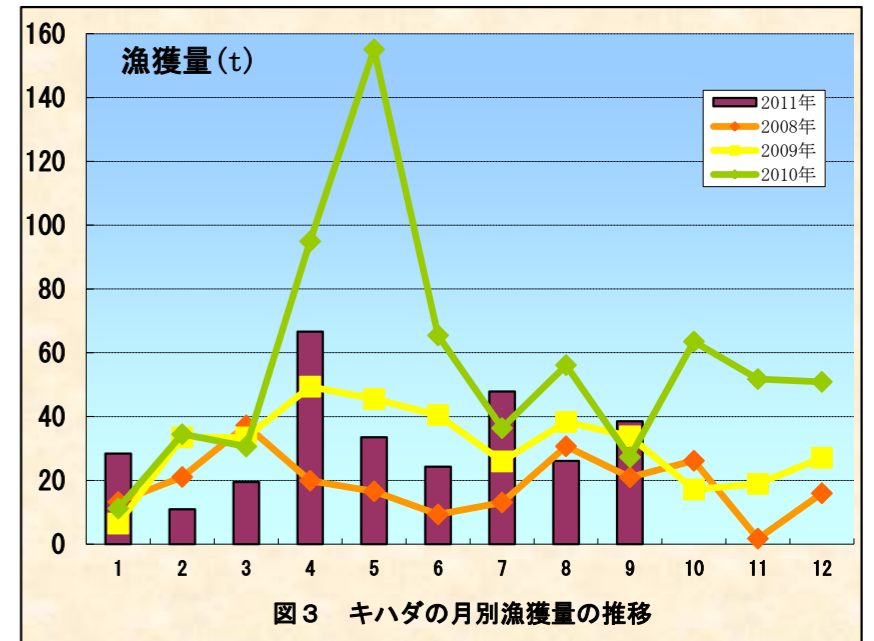


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表3 9月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	779.5	2.4			418.5	73.6	260.8		1,534.8
カマス	126.3	41.3			13.7	28.5	20.7		230.5
ヤマトガイ	133.3	21.8			4.8	0.0	0.0		159.9
ムロアジ	656.9	0.0			21.4	1.0	0.0		679.3
ガツン	105.9	57.5			13.0	45.8	6.2		228.4
ガーラ	1,019.9	128.3			79.0	156.2	267.6		1,651.0
グルクマ	620.8	63.9			41.8	17.1	11.6		755.2
カツオ類	378.7	0.0			35.8	5.9	37.1		457.5
タチウオ	4.0	21.8			1.4	16.1	0.4		43.7
アイゴ	0.0	0.1			7.5	13.2	2.0		22.8
合計	3,825.3	337.1	0.0	0.0	636.9	357.4	606.4	0.0	5,763.1

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。